

(仮称) Mt. Fuji ジビエ加工センター設計業務に係るプロポーザル仕様書

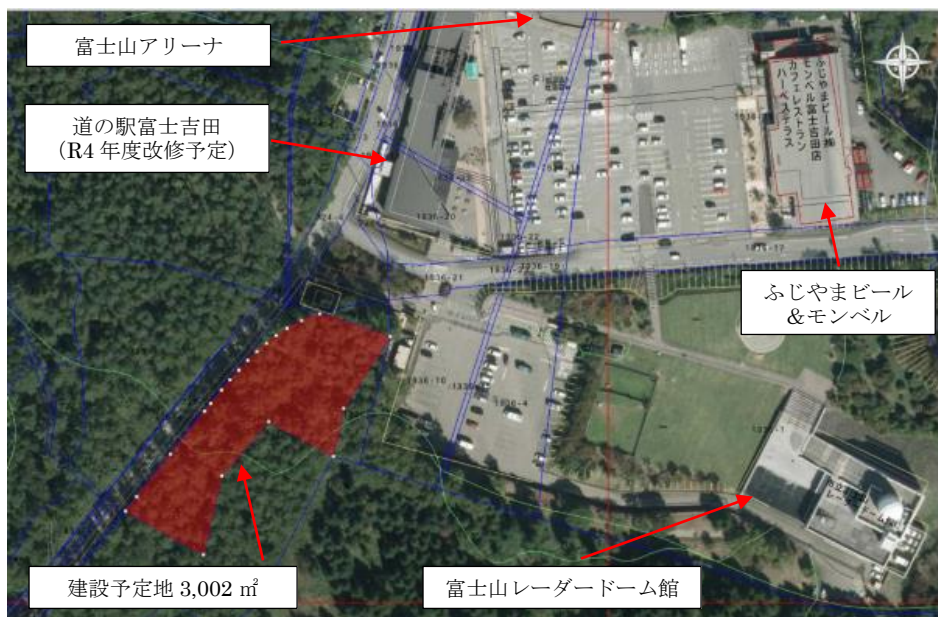
I. 提案の条件

本提案は、道の駅富士吉田に隣接する「ジビエ加工センター」を計画するためのものである。一般的なジビエ加工センターは解体施設としてのマイナスイメージが強いが、本施設は道の駅エリアに建設予定であることから、これまでのイメージを払しょくし、外観デザインにも配慮する中で集客施設としての位置づけをもった施設として提案する。

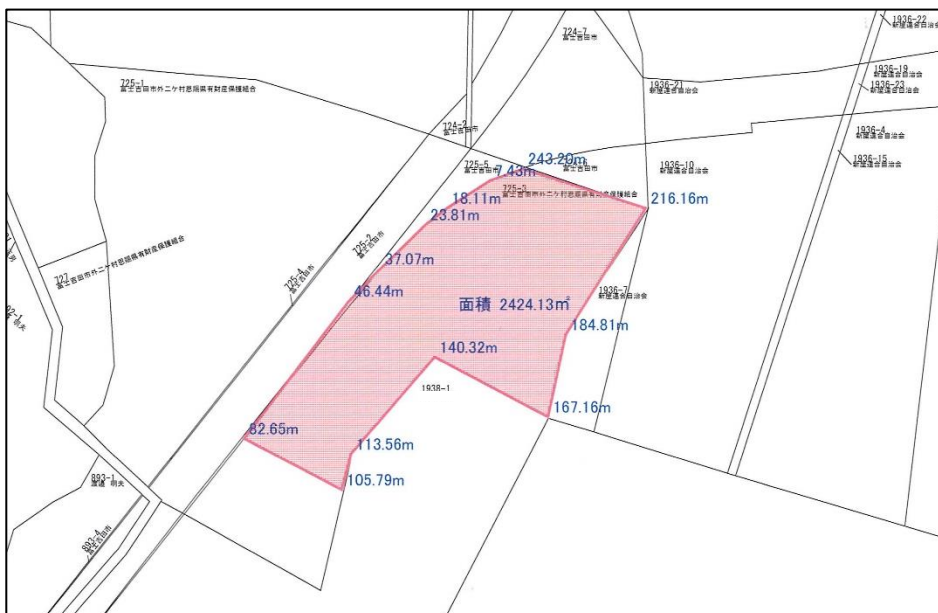
1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下記①周辺図及び②敷地図のとおりである。
- (2) 敷地は、総面積 3,002 m²のうちの一部 2,400 m²程度（外周 240m程度）を利用するものとする。また、高低差は南西方向がやや高く（富士山からの緩やかな傾斜）、起伏を有する土地である。
- (3) 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - ①自然公園法の普通地域（富士五湖景観形成地域）である。
 - ②都市計画法上の用途地域の指定はない。
 - ③建ぺい率の限度は 70%、容積率の限度は 200%である。
- (4) 電気、上水道は敷地付近まで整備されている。下水道は未整備である。

① 周辺図



② 敷地図 [3,002 m²のうちの一部（赤色部分）2,400 m²程度]



2. 建築物

- (1) 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上 1 階建ての建築物とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、概ね 300 m²程度とする。
- (3) 要求室
次表の室は、すべて計画する。

| 部門 | 室名 | 特記事項 | 床面積の目安 | |
|---|---------|---|---|----------------------|
| 解体・加工部門 | 1次保管室 | 複数頭同時に個体が搬入されてきた際に、個体を1次的に保管できるスペースを設ける。要冷蔵機能。 | 4 m ² 程度 | |
| | 搬入・洗浄室 | 軽トラック1台が入るようにする。高圧洗浄機、電動ウインチを設ける。 | 30 m ² 程度 | |
| | 解体室 | 洗面台、二層シンク、テーブル、器具除菌庫、道具庫を配置する。要冷蔵機能。 | 22 m ² 程度 | |
| | 熟成室 | 極力多くの個体を収容できるように天井レールを配置する。要チルド機能。 | 20 m ² 程度 | |
| | 1次加工室 | 加工テーブル、二層シンク、洗浄機、中型冷凍冷蔵庫、除菌庫、リキッドフリーザー、真空パック機、ミキサー、ミートスライサー、金属探知機を配置する。 | 26 m ² 程度 | |
| | 商品保管室 | 大型冷凍庫、大型冷蔵庫、大型切替式冷蔵冷凍庫、商品棚を配置する。 | 35 m ² 程度 | |
| | 残渣保管室 | 残渣保管用冷凍庫を設ける。 | 8 m ² 程度 | |
| | 調理・販売部門 | 調理室 | ガステーブル、コールドテーブル、調理台、二層シンク、冷蔵庫、冷凍庫、食器棚を配置する。 | 25 m ² 程度 |
| | | 出荷室 | 作業テーブル、商品棚を配置する。 | 10 m ² 程度 |
| | | 売店 | ショーケース、レジカウンター、ペレットストーブを設ける。 | 30 m ² 程度 |
| 共用・管理部門 | 事務室 | 4人分の事務スペースを確保する。 | 20 m ² 程度 | |
| | 更衣室 | 男性用、女性用として各1室設ける。 | 適宜 | |
| | シャワー室 | 男女兼用1人用のシャワー室を設ける。 | 適宜 | |
| | 従業員用トイレ | 男性用便所（大便器1器）、女性用便所（大便器1器）を設ける。 | 適宜 | |
| | 設備スペース | 空調、給排水、電気等の設備機械室、屋外機器置場等を計画する。 | 適宜 | |
| | 倉庫 | | 10 m ² 程度 | |
| ・下線の設備について、停電の際に一定時間稼働可能な発電設備を設けるものとする。 ・その他必要と思われる室等は適宜提案するものとする。 | | | | |

3. その他の施設等

- (1) 屋外飲食スペースを次のとおり計画する。
 - ①自然が感じられるような飲食スペースを 50 m²以上設ける。
 - ②テーブル、椅子等を設ける。
- (2) 敷地内の駐車場は、地上に平面駐車場とし、車椅子利用者用として1台分、来客者用として15台分を確保する。

- (3) 個体の捕獲者が個体搬入車両を洗浄できるよう洗車スペース及び高圧洗浄機を設ける。
- (4) (1)～(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 提案に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ①個体の捕獲者が出入りする搬入口と一般客が出入りする売店は、一般客が搬入個体を直接見ることがないように配慮する。
 - ②外観デザインは、周辺の自然環境や道の駅等近接施設の外観へ配慮したデザインとする。(道の駅は、R4年度改修工事予定)
 - ③建築物はバリアフリー等に配慮する。
 - ④解体・加工部門、調理・販売部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ①建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ①空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備、太陽光発電設備等を適切に設け、環境負荷の低減に配慮する。

II. 要求図書

1. 要求図面

次表により所定の図面を作成し、必要な事項を記入する。

| 図面 | 特記事項 | 縮尺 | サイズ |
|---------------------------|---|-------|-----|
| (1) 配置図 | 配置図には、次のものを図示する。 イ. 屋外飲食スペース ロ. 洗車スペース ハ. 建物の出入口 ニ. 敷地内の駐車場 ホ. 通路、植栽等 | 1/300 | A3 |
| (2) 平面図 | 平面図には、次のものを図示する。 ヘ. 建築物の主要寸法（床面積の計算に必要な程度） ト. 室名等 チ. 要求室の床面積 リ. 設備計画に応じた設備スペース ヌ. 断面図の切断位置 ル. 要求室の特記事項に記載されている什器等 | 1/100 | A3 |
| (3) 断面図（2面） 立面図（4面） | 断面図・立面図には、次のものを図示する。 ヲ. 要求室の有効天井高さ及び建物高さ | 適宜 | A3 |
| (4) 外観イメージ図 (1面) | — | 適宜 | A3 |

2. 面積表

床面積及びその算定式を記入する。

3. 提案に対する概算工事費

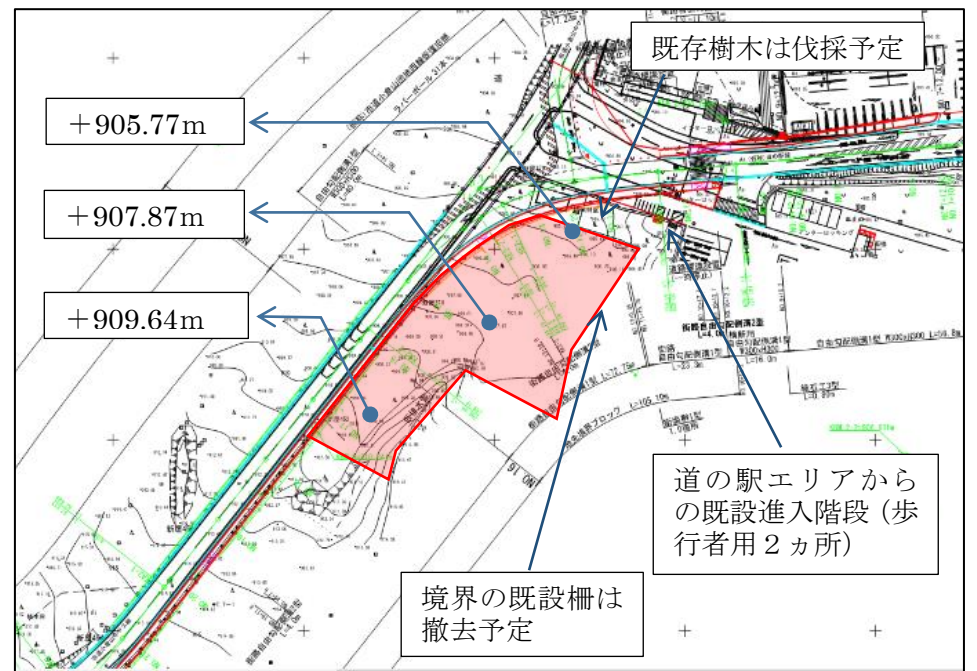
4. 計画の評価ポイント等

- (1) ポイント1「設計業務上の考え方」について
加工センターと集客施設という2つの側面があるため、その点について施設内のゾーニングや敷地内の配置など、特に重視する設計業務上の配慮事項などを提案する。また、ジビエ加工品の販売方法等についても可能な限り提案する。
- (2) ポイント2「景観、眺望と調和したデザイン・動線計画」について
周辺の自然環境や近接施設などに配慮した外観デザインや動線計画を提案する。
- (3) ポイント3「環境への配慮」について
環境負荷の低減や、省エネ・ランニングコスト削減について提案する。
- (4) ポイント4「工事費用の縮減」について
工事費用の縮減について提案する。

III. 参考

- 1. 参考として敷地の高低差（標高）及び敷地への道の駅エリアからの既設進入階段等を下図に示す。

(西側接道拡幅工事計画平面図を基に作成)



- 2. 提案の参考とするため、下記の図面を配布する。

- (1) 改修後の道の駅配置図、平面図及び外観パース
- (2) 建設予定地の地積測量図